

# CSR推進フォーラム 見学会

## ダイキン工業「テクノロジー・イノベーションセンター」、 シスメックス「テクノパーク」見学会レポート

2017年10月にCSR推進フォーラムのFグループ（これからのCSR研究）では、ダイキン工業「テクノロジー・イノベーションセンター」、シスメックス「テクノパーク」を訪問し、見学とCSR経営について意見交換を行いました。

### 1. 研究開発施設を軸としたイノベーション創出

近年、企業ではイノベーション創出の仕掛けとして、新しいコンセプトの技術系サイトの開設が次々に行われ、注目を集めています。多くの施設では、エネルギー効率や周辺環境への配慮にも注力されており、CSR活動の一翼も担っています。

そうした背景のなか、企業研究会ではCSRフォーラムの分科会メンバーが参加して、ダイキン工業「テクノロジー・イノベーションセンター」、シスメックス「テクノパーク」の見学会と意見交換を行いました。

### 2. ダイキン工業「テクノロジー・イノベーションセンター」

ダイキン工業では、2015年11月に大阪府摂津市に、異業種・異分野の企業や大学、研究機関との連携・提携、融合を通じて新たな価値を創り上げる「協創」の中心として「テクノロジー・イノベーションセンター」（TIC）を開設しました。

同施設は、6階建てで約700名の技術者が働く「オフィス棟」と、世界最高レベルの実験設備を備えた「実験棟」の2つで構成されるユニークな構造です。象徴的なのが3階の「知の森」で、社内外を問わず議論やコラボレーションが進められるスペースとして活用されています。これまでの来場者数は年間2万5千人を超え、すでに多くのパートナーとの共同研究が進められています。

1階エリアには啓発館が設置され、創業者の山田晁氏の紹介や、エポックメイキングな商品、技術も展示しており、歴史や企業風土を感じることができる施設になっています。

また、CSR的な側面として、建築・設備は同社が得意とする空調を主体とした環境技術を導入し、省エネと快適な室内環境を両立させています。

### 【参加者の声】

三井化学株式会社コーポレートコミュニケーション部CSRグループ 阿部玲子さん

研究所を集約する「大研究センター構想」は多くの企業で進められていますが、ダイキン工業のTICは、単なる集約に終わらない真の「協創イノベーション」の場とするためのハード・ソフト両面からの工夫を随所に感じました。

オフィススペースは空気ダクトまで透明な仕切りができ、フロア中心中間階に「ワイガヤステージ」という素敵なネーミングでミーティングルームを設置、文字通りガラス張りの空間が広がります。社外との協創スペース「知の森」と「フューチャーラボ」、協創を具体化するためのプロジェクト実験室も備えています。また、人を集めるだけでは協創はできないという課題を持ち続け、若手にも重要なポジションを与える人材育成、事業・技術・組織を超えた交流の場や研究発表会の



TICのガラス張りのオフィススペース

開催等が仕掛けられています。

「人を基軸におく経営」が競争力の源泉であるとされ、その象徴的なTICで、人を生かし協創する大切さを改めて考える機会になりました。

### 3. シスメックス「テクノパーク」

シスメックスでは創立40周年きっかけに、2008年10月に「“知”の創造と継承」をコンセプトに研究開発中核拠点「テクノパーク」を兵庫県神戸市に設立しました。

同施設は、72441㎡の広大な敷地の約60%を緑地としており、各所にアート作品の設置や瞑想の部屋が設けられるなど新たな技術の創出・発想を促すさまざまな工夫が施されています。

研究の中心となるR&Dタワーでは、ラボスペースとオフィススペースを同一フロアに設置し、機器・試薬・ソフトウェアの開発者たちがプロジェクト単位で集結することを可能にしています。

また、セントラルオフィスでは、「知」を受け継ぐ場として、歴史や技術を紹介する展示室を設置しています。

CSR的な側面としては、建築残土について全て施設内の築山として活用し、建築障がいとなった樹木についても別の場所へ移植を行いゼロエミッションの工事を行っています。また、地下に雨水貯蓄層を備えており、施設内の樹木への散布に活用するなどの取り組みを行っています。

#### 【参加者の声】 川崎重工業株式会社 CSR部 櫻井忍さん

施設を見学させてもらう際に、「文化のないところにはサイエンスの発展はない」という社長の思いが詰まっているとの説明を受けたのですが、広い敷地には様々なモニュメントや新たな発想を促すオブジェ、日本庭園や茶室、瞑想ルーム等があり、その言葉通りあちこちに文化的要素が感じられました。

見学では、どう見ても動きそうにない4.5tもある大きな岩が片手で動かして驚いたり、目線の高さを変えると同じ物が違って見えることを体感したりして、一見、研究開発とは関係なさそうなこ

とも視点を変える大事なきっかけであり、「発想の転換」につながってイノベーションが生まれるのだと実感しました。

CSR活動では、様々なステークホルダーの期待に応えるため、多様な観点が求められます。私自身も、イノベティブな発想を持つ努力をしなければ！と改めて思いました。



4.5tある御影石だが、手のひらの形部分を押しと片手でも動かせる。発想の転換を促す仕掛け。



瞑想の部屋（水色の風）水面と同じ高さで座れる空間。

#### 本会合のご案内

- 会合名：「CSR推進フォーラム」
- 開催期間：5月～翌年3月
- 参加対象：事業会社のCSRご担当者
- 内容：【当会HP】をご参照いただき、各研究交流会の担当者にお問い合わせください。
- 担当：鎌田 TEL：03-5215-3513